

2019年8月30日

農業技能測定試験（畜産農業全般）の試験基準概要

一般社団法人 全国農業会議所
農業技能測定試験事務局

1. 試験基準等

(1) 試験時間

60分間（別途、試験説明・音声確認画面などが10分間）

(2) 試験科目

○ 日本語能力の確認・評価（日本語試験）

① 日本語試験

音声ヒアリングによる数字の記述式及び択一式試験

○ 畜産農業学科試験及び実技試験

① 学科試験

正誤式及び択一式試験

② 実技試験

正誤式及び択一式試験

(3) 試験問題数

70問程度（正答率等を分析するための採点対象外問題を含む）

2. 合否判定基準

総合得点に対し、全国農業会議所が定める判定基準点を越えていること。

3. 本文書の運用

農業技能測定試験（畜産農業全般）における試験基準は、日本語で作成された本文書が原本であり、本文書に基づいて運用する。

2019年8月30日

農業技能測定試験（畜産農業全般）学科試験問題の範囲

一般社団法人 全国農業会議所
農業技能測定試験事務局

1. 畜産農業一般に関する知識

(1) 家畜の名称・利用

次に掲げる家畜利用の動物について。

①牛、②豚、③鶏、④軽種馬、⑤蜜蜂

(2) 畜舎管理

舎内温度について。

(3) 家畜管理

給餌・給水・家畜の状態について。

(4) 緊急時対応

緊急事態の対応について。

(5) 糞尿の堆肥化

糞尿の堆肥化について。

2. 安全衛生

畜産農業職種に伴う安全衛生に関する、次に掲げる事項について。

①家畜の性格、②舎内清掃、③履き物等の消毒、④消毒薬、⑤電気・燃油

3. 酪農

(1) 品種

品種の特徴について。

(2) 繁殖・生理

繁殖・生理に関する、次に掲げる事項について。

①発情、②交配、③妊娠、④分娩、⑤人工授精

(3) 飼養管理

飼養管理に関する、次に掲げる事項について。

①牛舎様式、②飼育様式、③育成、④子牛管理、⑤繁殖牛、⑥肥育牛、⑦疾病
⑧飼育密度、⑨給水、⑩飼料設計・給餌、⑪哺乳、⑫離乳、⑬環境管理、⑭搾乳
⑮生乳出荷

4. 肉用牛

(1) 品種

品種の特徴について。

(2) 繁殖・生理

繁殖・生理に関する、次に掲げる事項について。

①発情、②交配、③妊娠、④分娩、⑤人工授精

(3) 飼養管理

飼養管理に関する、次に掲げる事項について。

①牛舎様式、②飼育様式、③育成、④子牛管理、⑤繁殖牛、⑥肥育牛、⑦疾病
⑧飼育密度、⑨給水、⑩飼料設計・給餌、⑪哺乳、⑫離乳、⑬環境管理、⑭生体出荷

5. 養豚

(1) 品種

品種の特徴について。

(2) 繁殖・生理

繁殖・生理に関する、次に掲げる事項について。

①発情、②交配、③人工授精、④妊娠、⑤分娩、⑥哺乳、⑦離乳、⑧発情再帰

(3) 飼養管理

飼養管理に関する、次に掲げる事項について。

①哺乳子豚、②子豚、③肥育豚、④妊娠豚、⑤分娩豚、⑥授乳豚、⑦離乳豚
⑧種雄豚、⑨豚舎様式、⑩飼育様式、⑪育成、⑫疾病、⑬飼育密度、⑭給水
⑮飼料設計・給餌、⑯環境管理、⑰生体出荷

(4) 安全衛生

予防・消毒について。

6. 養鶏

(1) 品種

銘柄・卵殻について。

(2) 繁殖・生理

繁殖・生理に関する、次に掲げる事項について。

①体温、②孵化、③初産日数、④産卵、⑤照明、⑥卵重、⑦体重、⑧呼吸、⑨換羽
⑩糞尿

(3) 飼養管理

飼養管理に関する、次に掲げる事項について。

①鶏舎様式、②飼育様式、③育すう、④ひな監理、⑤換気、⑥疾病、⑦騒音、⑧断嘴、
⑨飼育密度、⑩給水、⑪飼料設計・給餌、⑫環境管理、⑬淘汰・出荷

(4) 安全衛生

安全衛生に関する、次に掲げる事項について。

①害虫、②害獣、③伝染病、④ワクチン

7. 軽種馬

(1) 品種

品種の特徴について。

(2) 繁殖・生理

繁殖・生理について。

(3) 飼養管理

飼養管理について。

8. 養蜂

(1) 品種

品種の特徴について。

(2) 繁殖・生理

繁殖・生理について。

(3) 飼養管理

飼養管理について。

9. 本文書の運用

農業技能測定試験（畜産農業全般）における学科試験問題の範囲は、日本語で作成された本文書が原本であり、本文書に基づいて運用する。

農業技能測定試験（畜産農業全般）実技試験問題の範囲

一般社団法人 全国農業会議所
農業技能測定試験事務局

1. 酪農

（1）器具の取扱い

- ・酪農器具の利用目的と使用。

（2）個体の観察

- ・異常牛、発情牛の識別。
- ・牛の体型の識別。

（3）飼養管理

- ・飼料原料の識別。
- ・牛舎の環境状況の識別。
- ・飼料給餌の手順。

（4）生産物の取扱い

- ・搾乳作業の手順、搾乳用器具と利用目的。

（5）安全衛生

- ・安全な作業着を身につけること。
- ・消毒液の取扱い。
- ・牛床の状態の識別。

2. 肉用牛

（1）個体の観察

- ・品種名と、その特徴の識別。
- ・異常牛、発情牛の識別。
- ・繁殖牛、肥育牛の識別。
- ・牛の体型の識別。

（2）飼養管理

- ・飼料原料の識別。
- ・牛舎の環境状況の識別。
- ・飼料給餌の手順。

（3）安全衛生

- ・安全な作業着を身につけること。
- ・消毒液の取扱い。
- ・牛床の状態の識別。

3. 養豚

- (1) 個体の取扱い
 - ・子豚の移動、保定。
- (2) 個体の観察
 - ・品種名と特徴。
 - ・豚体の構造、測定。
 - ・発情豚、異常豚の識別。
 - ・繁殖豚、肥育豚の識別。
 - ・出荷豚の識別。
- (3) 飼養管理
 - ・飼料原料、飼料の識別。
- (4) 安全衛生
 - ・安全な作業着を身につけること。
 - ・消毒液の取扱い。

4. 養鶏

- (1) 個体の取扱い
 - ・鶏の捕獲、保定、運搬、断し。
- (2) 個体の観察
 - ・品種の識別。
 - ・鶏体の構造。
 - ・異常鶏の識別。
- (3) 飼養管理
 - ・飼料原料、飼料の識別。
 - ・飼養器具の取扱い。
- (4) 生産物の取扱い
 - ・鶏卵の取扱い。
 - ・異常卵の識別。
 - ・卵質の識別。
- (5) 安全衛生
 - ・安全な作業着を身につけること。
 - ・消毒液の取扱い。

5. 本文書の運用

農業技能測定試験（畜産農業全般）における実技試験問題の範囲は、日本語で作成された本文書が原本であり、本文書に基づいて運用する。